



校 報 徳田っ子

平成 29 年 12 月 22 日 (金)

第 14 号

矢巾町立徳田小学校



2学期終了 有意義な冬休みを



本日の終業式をもって無事に2学期が終了しました。長丁場の2学期は、子供たちにとってさまざまなことにチャレンジできる期間でした。水泳に始まり、陸上記録会、校内マラソン大会などの体育的な行事、学習発表会や町音楽会などの文化的な行事、縦割り班活動や感謝の会などの児童会行事、さらには、それぞれの学年の見学学習や体験活動。子供たちは、どの活動においても目標達成に向けてひたむきに取り組む姿勢を見せてくれました。そのひたむきな努力が着実に実を結び、子供たちは4月当初に比べるとひと回りもふた回りも大きく成長しました。子供たちの成長は、その活動を常に温かく見守り、支援して下さった保護者の皆様、地域の皆様のお力添えのおかげと心から感謝申し上げます。

明日からは26日間の冬休みです。何より事故なく過ごせるよう、学校より配付した「冬休みの過ごし方」をご家庭で確認くださるようお願いいたします。休み明け、元気な子供たちの笑顔に会えることを楽しみにしています。

休み中、特にお願いしたいこと

1. 雪道に注意

12月に入り雪道、凍結路面で転倒してけがをした児童がいます。外出時の服装や雪道の注意事項等の確認をお願いします。

2. 友達との遊び方

お金の貸し借りや、おごる、おごられることはしない。また、大人のいない家では友達と遊ばない約束になっています。

3. テレビやゲーム等の時間

特に心配なのは、生活リズムの乱れです。テレビの視聴やゲーム機等の使用のルール確認をお願いします。



税の大切さを学びました

15日(金)、矢巾町役場税務課の村井さんと佐々木さんにおいでいただき、6年生を対象とした租税教室を行いました。初めに、DVDを見ながら税金のない世界はどんな様子になるのかを考えました。その上で、税金のおかげで自分たちの生活が成り立っていること、小学生一人当たり約90万円の税金が使われていることなどを知り、改めて税金の大切さを学びました。ちなみに、徳田小学校の全校児童に使われている税金は、166人×90万円=1億4940万円となり、その金額の大きさに子供たちは驚きを隠せませんでした。1億円のレプリカ(10kg)を子供たちに持たせてくださるなど、分かりやすく、より実感できるように工夫して下さった講師のお二人に感謝です。



見つめることと脳の活動

～あるスクールカウンセラーさんの話～

見つめ合っている二人の脳の活動や瞬きを、fMRIという装置などを使って調べる実験が行われました。また、初めて見つめ合うペア、共同作業をしたり見つめ合ったりしたことがあるペアを比べたら、次のような結果が出ました。

- ①二人で一緒に同じものを見るような作業をした後は、二人の脳に同じように活動する場所が増えた。
- ②同じように活動する脳の部分が広がるにつれ、ペアの二人の瞬きも同じようになっていった。
- ③初めて見つめ合うペアでは、脳の活動は同じにならない。

見つめ合いにより、脳の活動が同じになり、その後のコミュニケーションを円滑にする働きがあるのでは、と研究した人は考えました。やはり、目を合わせて話をするって、コミュニケーションに大切なんですね。



